

所属	農学生命科学部 藤崎農場	氏名	林田 大志
課題名	弘前大学育成赤肉リンゴ新品種 HFF33 の貯蔵試験		

1. 概要

研究背景

弘前大学附属藤崎農場では、多種多様なリンゴ品種を育成しています。2010年に品種登録された‘紅の夢’は、その代表的品種であり、果皮だけでなく果肉まで赤い品種として全国的にも最も有名であり、今でもテレビ取材、新聞および雑誌記事に掲載されております。酸味が強いいため生食よりも加工用として需要が高いです。問題点として、①生食しにくい ②貯蔵性が低い（通常冷蔵で3カ月ほど） ③年によっては果肉の着色が弱い などがあります。それらの問題点を解決した赤肉品種が HFF33 です。

HFF33 とは

2016年に品種登録され、①酸含量が‘ふじ’と同じで生食しやすい ②収穫期が11月上～中旬なので、果肉着色に必須な低温に長い期間晒されるため、津軽地方では毎年確実に果肉着色する といった特徴を有します。従って、生食できる赤肉品種として今後の期待が高まるリンゴです。

本研究の目的

‘HFF33’の貯蔵性は明らかになっていません。従って、本研究で‘HFF33’の長期貯蔵性を明らかにします。



図1



図2

2. 画像の説明

図1 HFF33 の果実

図2 HFF33 の果肉